

「江のしま参詣の図」
歌川広重 身分の高い大名の奥方が大奥の行列を想像させる



▶「東海道五拾三次之内 藤沢」歌川広重 江の島ノ鳥居を遊行寺を背景にして描いたもの



▶旧東海道沿いには宿場町の名残をとどめる風景がある



江の島の歴史

名所が多い 藤沢宿周辺

宿場町には、歌舞伎「小栗判官・照手姫」の旧跡もある遊行寺や、義経ゆかりの白旗神社や「義経首塚及び首洗い井戸」があり、また「里歩けば江の島で弁財天参詣もできる。名所が集まる風光明媚な藤沢は、一流の絵師たちによって浮世絵に描かれている。

名僧や武将が訪れた 信仰の島

江島神社(↓P7)は、古来より聖域とされ、島の洞窟(現在の江の島岩屋)には空海や日蓮など名だたる名僧が修業に訪れた。鎌倉時代には戦勝祈願を行った源頼朝が江の島を訪れ、八臂弁財天と鳥居を奉納したといわれる。弘安5年(1282)には、一遍上人が鎌倉入りを拒まれ片瀬で踊り念仏を行った際にも、江の島に参詣したと伝えられている。

信仰・観光の 人気スポットに

慶長5年(1600)には徳川家康が江島神社を参詣。その後、江戸時代に庶民の間でも弁財天信仰が盛んになると、江戸から箱根の関所を通らずに参詣できる江の島は、憧れのパワースポットとして全国に知られ、多くの人が江の島詣でに訪れた。

日蓮聖人ゆかりの古刹



▲日蓮聖人像が安置されている大本堂

龍口寺 ●りゅうこうじ

かつて日蓮聖人が奇跡的に処刑をまぬがれたことで知られる龍の口刑場跡に、延元2年(1337)、日法上人により建立された。五重塔は「かながわの建築物100選」に選定され、江の島シーキャンドルからも見ることができる。

☎0466-25-7357 MAP 付録ウラ①C1
 ①藤沢市片瀬3-13-37 ②江ノ電江ノ島駅から徒歩3分 ③無料
 ④9時30分~16時⑤無休 ⑥5台 [設備]トイレ



▲県内唯一の本式木造五重塔。明治時代に建立された

「江島縁起」物語

江島神社の縁起書で、江の島が弁財天信仰の聖地となったルーツとなる物語。江の島の龍恋の鐘(↓P7)は「天女と五頭龍」の恋物語にちなんだスポットだ。

「あらず」五つの頭を持つ恐ろしい龍が鎌倉に住み、悪行の限りを尽くして村人を苦しめていた。ある日、海が荒れると島(江の島)が現れ天から美しい天女(弁財天)が舞い下りる。目で恋に落ちた龍は求婚するが、悪行を理由に結婚を断られてしまう。悲しんだ龍は心を入れ替えて、人々のために尽くし、ついに心を許した天女と結ばれたという。



▶江島神社の奉安殿に安置されている妙音弁財天(みよとおんべんざいてん)

開運祈願!

藤沢七福神めぐり

毎年1月に藤沢七福神めぐりのスタンラリーを開催。藤沢七福神の神社・寺院は藤沢宿にある4カ所を含めて合計8カ所。参加用紙は市内鉄道各駅や、観光案内所(↓P3)で。



藤沢七福神

- 大黒天(諏訪神社)
- 寿老人(感応院)
- 福祿寿(常光寺)
- 毘沙門天(白旗神社)
- 布袋尊(養命寺)
- 恵比寿(皇大神宮)
- 毘沙門天(龍口寺)
- 弁財天(江島神社)

浮世絵や郷土資料から歴史を学ぶ 藤沢市藤澤浮世絵館

●ふじざわしふじざわきよえかん

☎0466-33-0111 MAP 付録オモテC4

藤沢宿や旅人の様子、当時から人気の高かった江の島などを描いた貴重な浮世絵を中心に郷土資料を展示する。浮世絵すり体験(毎週土・日曜の午後)も実施。

①藤沢市辻堂神台2-2-2ココテラス湘南7階②JR辻堂駅北口から徒歩5分③入館無料④10~19時(最終入館は18時30分)⑤月曜(祝日の場合は翌日)⑥なし

◀さまざまなテーマで展示替えを行う企画展示コーナー



▲藤沢宿や江の島などテーマごとに浮世絵を展示

藤沢宿の郷土資料を見学できる 藤沢市ふじざわ宿交流館

●ふじざわしふじざわしゆくこうりゅうかん

☎0466-55-2255 MAP 付録オモテE4

東海道五十三次や藤沢宿に関する資料をわかりやすく展示。宿場の歴史に関する講座や寄席などのイベントも開催され、歴史散策の休憩処としても利用できる。

①藤沢市西富1-3-3②JR藤沢駅北口から徒歩14分③入館無料④9~18時(10~3月は~17時)⑤月曜(祝日の場合は翌日)⑥なし



▲江戸時代をイメージした建物も印象的
 ▶昔の藤沢宿周辺を再現したジオラマ